

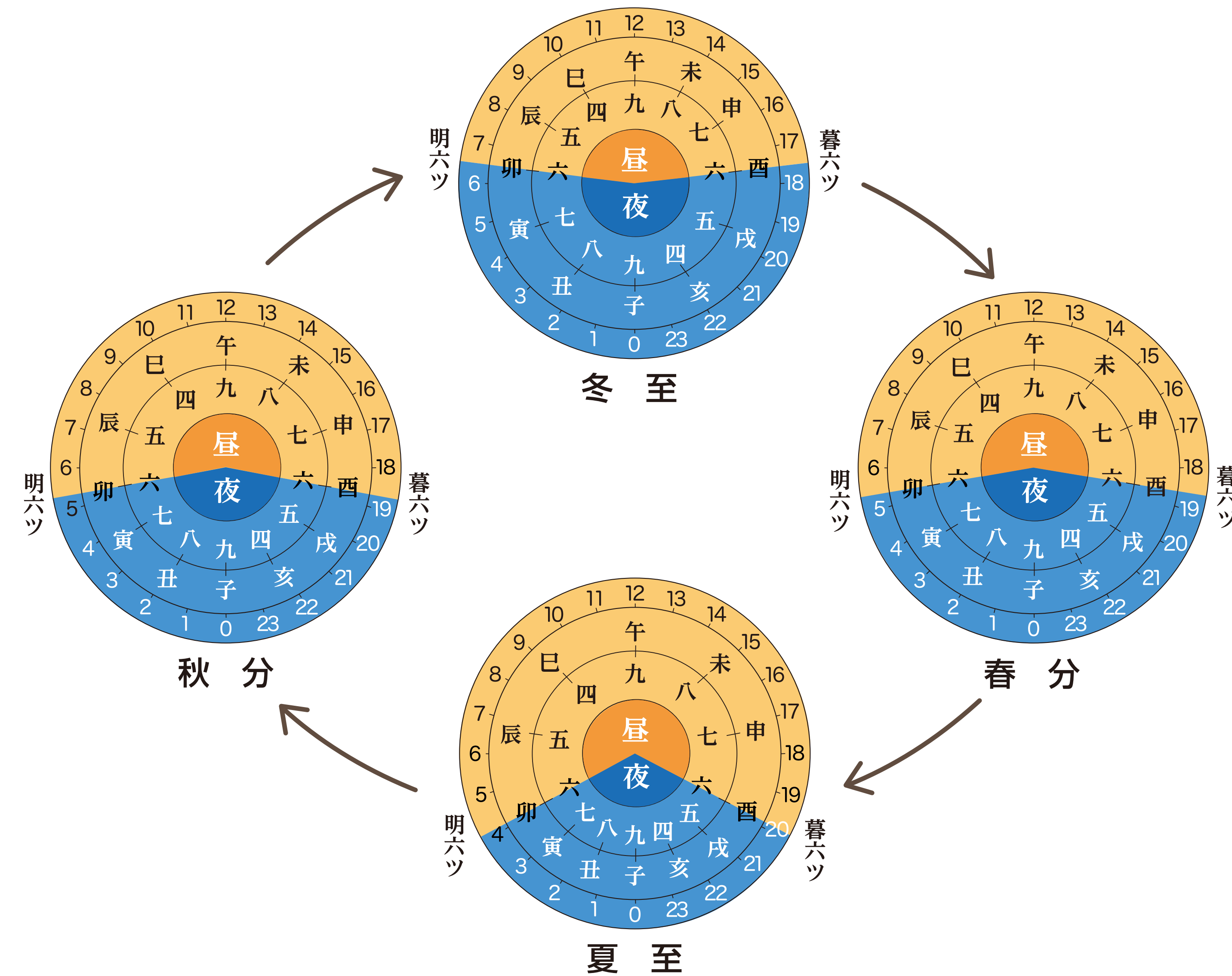
和時計の種類とメカニズム

Types and mechanisms of traditional Japanese clocks (Wadokei)

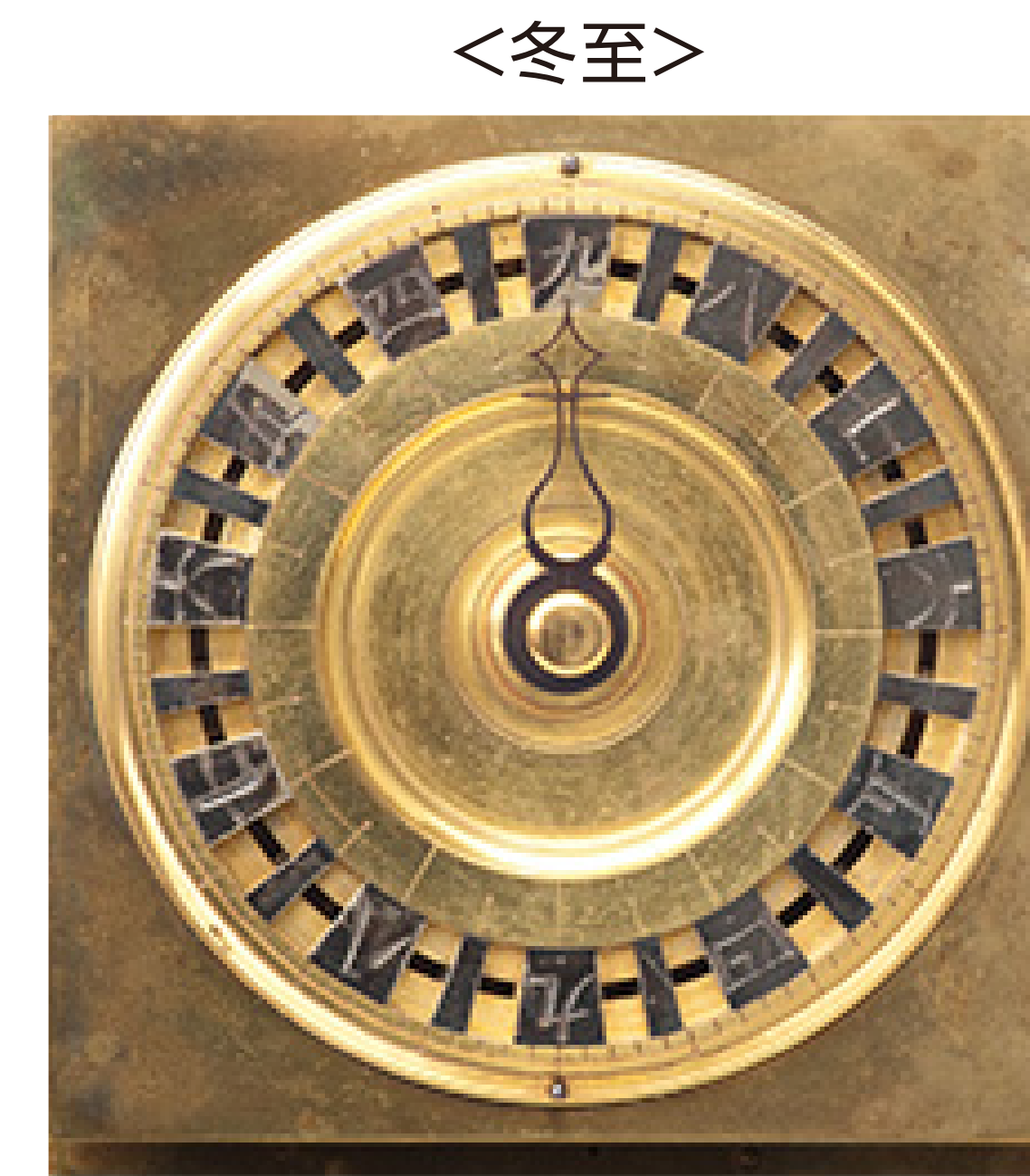
和時計は昼と夜の時間の長さを変えていく不定時法を採用しています。その時間の単位は、夜明けと日暮れの時刻を境界として、昼と夜を二つに分け各々6等分し、その単位を「一刻(いっとき)」と呼びました。

和時計は大きく分けて2つのタイプに分類されます。一つは、時計の進む速さは一定で周りの文字盤上の目盛りの間隔を季節によって変えていく方式です。目盛間隔の調整法として、24節気(約半月に一度)ごとに文字盤の位置を変える割駒式と、文字盤自体を取り換える節板式がありました。

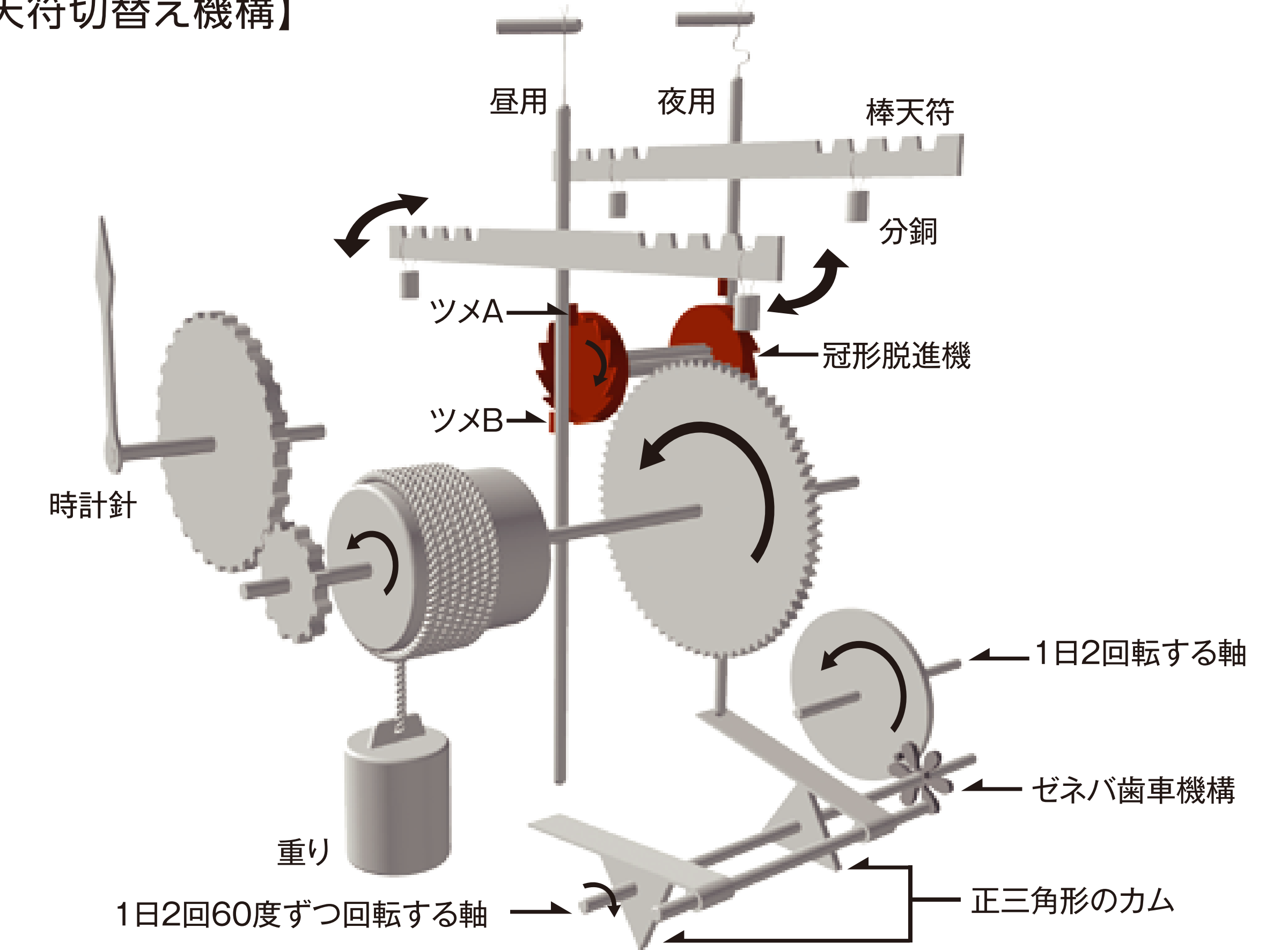
もう一つは、指針の進む速さを切り替える方式です。调速機が棒天符一本の一挺天符式の場合は、分銅の位置を変えて天符の慣性モーメントを変えることで调速でき、一日2回、調整をしました。棒天符2本の二挺天符式は、異なる速さの棒天符を昼夜自動交替させることで、24節気ごとの調整で済む様に改良されたものです。



【割駒式文字盤】



【二挺天符切替え機構】



館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <https://www.tcmmit.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.